年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科　　国語　　科目　　文学国語

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　　A組

教科担当者：大峠ゆかり　　神津千恵美

使用教科書：（ 大修館書店　文学国語　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　文学国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	桜の中で、時が重なり合う ・言葉による世界の多様なとらえ方に着目する。 ・自然と人間との関係における言語表現の魅力を味わう。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。［(2)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。［B(1)オ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の変遷を読み味わい、それぞれの時代における表現について考えを深めようとしている。	【知識・技能】考査・小テスト 【思考・判断・表現】 ノートの記述・行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・行動観察	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	鍋セット ・時間の流れと人物の変化との関係を的確にとらえる。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。［(1)ア］ ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。［(2)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の特徴と効果をおさえ、作品を読み味わい、自身の日常や体験について考えを深めようとしている。	【知識・技能】考査・小テスト 【思考・判断・表現】 ノートの記述・行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・行動観察	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2学期	陰翳礼讃 ・日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取る。 ・日本の伝統的な価値観やその変化について考える。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。［(1)ア］ ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。［(2)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の表現をふまえ、伝統的な価値観やその変化について考えを深めようとしている。	【知識・技能】考査・小テスト 【思考・判断・表現】 ノートの記述・行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・行動観察	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	檸檬 ・登場人物の感覚から事物の多用なとらえ方を知る。 ・文体の特徴に着目し、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。［(1)エ］ ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。［(2)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物のものの見方をおさえ、語りの特徴や効果をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	【知識・技能】考査・小テスト 【思考・判断・表現】 ノートの記述・行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・行動観察	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3学期	掟の門 ・心の不可解さや生の不条理さについて考える。 ・寓話のおもしろさを知る。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。［(1)ア］ ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化特質について理解を深めている。［(2)ア］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写の方法などについて的確にとらえている。［B(1)ア］ ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の方法をふまえ、解釈の多様性について考察している。［B(1)エ］ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品のもつ寓意性や、その表現方法の特徴について考えを深めようとしている。	【知識・技能】考査・小テスト 【思考・判断・表現】 ノートの記述・行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・行動観察	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 70